

事務事業チェックシート

事務事業No 710 事業名 観光基盤整備事業（観光案内板の増設等）

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

事業種別	
事業期間	H20 ~
事業実施の根拠法令	
関連個別計画	
担当課・担当課長 (Tel)	観光課 澤本 博行 (435-1234)
関連課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
事項		観光基盤整備事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	安全、安心で快適な観光施設の整備を進め、おもてなしの向上を図る。	観光案内板の設置及び修繕、雑賀崎灯台の周辺整備を行い、おもてなしの向上を図る。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		○友ヶ島のバイオトイレを含む市内10箇所の観光トイレ整備 ○観光案内板の更新・新設	○観光案内板の更新・新設 ○調査設計委託	○観光案内板の更新・新設 ○友ヶ島島内施設の整備 ○調査委託	○観光案内板の更新・新設 ○雑賀崎灯台の周辺整備	○観光案内板の更新・新設

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	78,423	75,017	15,778	9,679	14,014	11,818	14,153		2,230	
伸び率 (%)	-	-	▲79.9%	▲87.1%	▲11.2%	22.1%	1.0%	▲100.0%	▲84.2%	-
人件費	正規職員	6,629	6,483	6,483	10,464	6,483	7,677	6,532	6,532	
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0			
	小計	6,629	6,483	6,483	10,464	6,483	7,677	6,532	6,532	
国庫支出金			5,659	2,977		2,921				
県支出金	39,211	37,507	3,100	2,870	2,600	1,607	1,000		1,000	
市債							10,700			
その他										
一般財源（税等）	39,212	37,510	7,019	3,832	11,414	7,290	2,453		1,230	
所要人数（人）	正規職員	0.87	0.87	0.87	1.38	0.87	0.97	0.82	0.82	
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	
主な予算内訳	看板等製作委託料 2,000千円、整備工事請負費 11,923千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	観光案内板の整備	件	目標値					
			実績値	16	32	14		
			達成度(%)					
活動指標	友ヶ島島内施設の整備	件	目標値					
			実績値	4	0	1		
			達成度(%)					
成果指標	年間観光客数	万人	目標値	615	632	649	666	683
			実績値	618	642	649		
			達成度(%)	100.5%	101.6%	100.0%		
成果指標	友ヶ島来島者数	人	目標値	30,000	48,000	56,000	64,000	72,000
			実績値	39,334	58,718	69,477		
			達成度(%)	131.1%	122.3%	124.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	快適で安全な観光地づくりに取り組み、本市の観光資源の魅力を向上させる。
見直し・改善内容	観光案内板の新設・更新など観光施設の整備をし、おもてなしの向上を図る。